

川村学園女子大学 ディプロマ・ポリシー「学位授与の方針」

川村学園女子大学では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を授与する。

1. 全学共通カリキュラムの履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、人間・文化・社会・自然に対する理解を深めていること。
2. 学部・学科における体系的学習を通じて専門的知識を修得してその方法論に習熟し、それらを現代社会の多様な問題の解決に応用し得る実践的スキルと創造的思考力を身につけていること。
3. 「自覚ある女性」として社会において求められる態度・責任感をもち、豊かな感性を持って社会に奉仕する志を養っていること。

国際英語学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（文学）の学位を授与する。

1. 人間・文化・社会・自然に関心を寄せて学際的に学び理解を深めることによって、教養とそれによって裏打ちされた個性を積極的に磨いていること。
2. 「文化」、「言語・教育」、「国際関係」に関する専門的知識を習得し、その方法論に習熟し、それらを国際社会において的確に応用し得る実践的スキルと創造的思考力を身につけていること。
3. 「English in Action」シリーズおよび英語スキルアップの科目を履修し、実践的な英語運用能力を身につけていること。
4. 英語および日本語の運用に習熟し、適切に理解し、表現力豊かに発表することができること。
5. 「自覚ある女性」として国際的な視点をそなえ、国際社会において活躍するために求められる態度と責任感をもち、豊かな感性を持って社会に奉仕する志を養っていること。

史学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（文学）の学位を授与する。

1. 史学科における体系的学習を通じて、古代から現代にいたる人類の文化活動の変遷を学び、歴史学・地理学についての専門的知識を習得しその方法論に習熟していること。
2. 地理歴史に関し学修した知識や教養を統合して人間・文化・社会・自然に対する理解を深め、かつそこで培った洞察力・視野・問題意識を現代社会の多様な問題の解決に応用し得る実践的スキルと創造的思考力を身につけていること。
3. 「自覚ある女性」として幅広く深い視野をそなえ、複雑化する現代社会において多方面で活躍するために求められる態度・責任感をもち、豊かな感性を持って社会に奉仕する志を養っていること。

心理学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（心理学）の学位を授与する。

1. 心理学科における体系的学習を通じて、認知・社会・発達・臨床の多領域にわたる専門的知識を習得し、その方法論に習熟していること。
2. 多様化し、複雑化する現代社会を生き抜く人々の心を探求し、自己をとりまく環境をより豊かにしていくための役割を担えること。
3. 「自覚ある女性」として社会に求められる態度・責任感をもち、豊かな感性とともに科学的観点を持って社会に奉仕する志を養っていること。

日本文化学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（文学）の学位を授与する。

1. 日本文化に関する全般的理解を土台として、日本のことば、文学、伝統芸能、芸道、民俗等々、各人が特に関心を持つ日本文化の特定分野を中心に専門的知識を習得してその方法論に習熟し、その研究成果を卒業論文で提示し得ていること。
2. 日本文化学科で学習した専門的知識や探求の方法論の習得を通じて、国際交流といった場面も含めて社会で要請される実践的な問題発見・解決能力、創造的思考力、さらには表現力をはじめとするコミュニケーション能力を身につけていること。
3. 日本文化に関する基本的な教養を基盤として、豊かな感性と理性を備えた自覚ある女性として社会に奉仕、貢献していくこととする志を持っていること。

幼児教育学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（教育学）の学位を授与する。

1. 教養を養うと共に、幼児教育・保育について広範かつ専門的に学習し、「すべてのくひと・もの・こと」に感謝できる保育者」「子どもと共に生きることができる自覚ある保育者」としての素養を身につけていること。
2. 子どもの内面を理解しようとする意識・姿勢を持つと共に、発達や障害に関する知識を備え、保育において柔軟で適切な援助や指導に取り組めること。
3. 幼児教育・保育を行う上で必要な表現技術（音楽・図画工作・体育・言語）を備え、実践する力を獲得していること。
4. 自らの個性や能力、女性としての自覚を生かして社会に貢献しようとする姿勢をもっていること。

児童教育学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（教育学）の学位を授与する。

1. 教育に関する専門的知識・技能・態度を習得し、学校現場との連携による体験的な学習活動を通して、小学校教員として求められる実践力を有すること。
2. 児童に対する深い愛情を備え、優れたコミュニケーション能力と「奉仕の精神」をもって児童の心に寄り添える能力を有すること。
3. 高いコミュニケーション能力を備え、教員間や保護者・地域社会と連携し学校運営（学級運営）を実行できる能力を有すること。
4. いじめや不登校などさまざまな教育課題に積極的に対応できる課題解決能力を有すること。
5. 一人ひとりの児童の個性や可能性を引き出すために、自らの感性を磨き、児童の創造的な学習活動の指導・支援を行う能力を有すること。

社会教育学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（教育学）の学位を授与する。

1. 生涯学習において重要な役割を担う社会教育あるいは学校教育の基礎を習得した上で、その専門的知識に習熟し、様々な方法論、実践論等にも精通していること。
2. 現代社会における生活の多様化や社会構造の変化に対応できる柔軟な総合的能力と、地域社会における専門的指導者として、多様な地域活動を行うための計画立案から実践までを実行できる創造的思考力や実践的行動力・スキルを身につけていること。
3. 「感謝のこころ」を育みつつ、豊かな知性、感性をもって社会に奉仕、貢献する志を有し、また「自覚ある女性」として、社会において求められる責務を十分に理解し、それらを体現することができる能力を身につけていること。

生活文化学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（社会学）の学位を授与する。

1. 健康社会構築のために貢献できる栄養士・栄養教諭としての知識・技術を有していること。
2. 地域社会の食育に積極的に参画できる栄養士・栄養教諭としての知識・技術を有していること。
3. 伝統的な日本文化を踏まえ、感性豊かな食空間を構成できる栄養士・栄養教諭としての知識・技術を有していること。
4. 社会の構成メンバーとして、社会現象を的確にとらえ、問題解決のための実践的スキルと創造的思考力を有していること。
5. 女性としての自覚をもとに、社会環境に柔軟に適応・協調し、かつ奉仕できる能力を有していること。

観光文化学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（社会学）の学位を授与する。

1. 女性の感性が重視される観光業において、「自覚ある女性」として活躍できる能力を身につけていること。
2. 観光という現象について地理学や歴史学、社会学、心理学などの学際的な方法論を用いて考察する力を身につけ、現代社会の多様な問題解決に応用できる力を有すること。
3. 英語運用能力の習熟により、そのコミュニケーション能力を活かし、観光分野のみならず、あらゆる分野でグローバルな活躍ができる能力を有すること。
4. 研修旅行、視察、見学授業を通じて、総合的なコミュニケーション能力、リーダーシップ、チームワーク、自己管理能力等を身につけていること。